

1. 科目名（単位 数）	音楽Ⅱ（小）（2 単位）	3. 科目番号	EDEL2305	
2. 授業担当教員	杉原 由利子			
4. 授業形態	演習（個人、全員、グループ）	5. 開講学期	春期	
6. 履修条件・ 他科目との関係				
7. 講義概要	「音楽（小）」の発展として、音楽の基本的な演奏技能と知識を習得し、創造的な音楽教育を実践する能力の育成を目指す。実際には、諸外国の音楽教育の動向を視野に入れながら様々な角度から表現を捉え、声や身体 の動きや楽器を媒体として表現を行う方法と、子どもの中にある音楽を引き出す方法を学ぶ。			
8. 学習目標	1. 小学校共通教材を中心としたピアノの弾き歌いができる。 2. 鍵盤楽器や打楽器やリコーダーによる「アンサンブル」ができる。 3. 声や楽器や身体 の動きを媒体として、グループで音楽作品を作ることができる。 4. 音楽の基礎理論（楽典）の理解ができる。			
9. アサイメント （宿題）及びレポ ート課題	・音楽理論の基本的な事項については、音楽表現と関連付けて常に予習と復習を行なうこと。 ・ピアノによる弾き歌いなどは、発表によって学習成果を確かめること。 ・レポート課題についても意欲的に取り組むこと。 ・5 回目に音楽理論の小テストを実施、1 0 回目にレポート課題、最終 1 5 回目には、予め提出された映像 データ（歌唱を無伴奏で録画したもの）を授業で共有します 4. 小テストの事前課題として、4 回目授業後に音楽理論の、9 回目には指定の書籍の通読を課題として提 示します。 また、音楽理論に関する領域の学修の確認のために、模擬的に教員役を担当し頂くごく短時間の「模擬授業」 を実践していただきます。			
10. 教科書・参考 書・教材	教科書 一年生で使用した『教員養成課程 小学校音楽科教育法 2022 改訂版 』有本真紀・坂井恵・山下薫子編著教育 芸術社			
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1. 小学校共通教材を中心としたピアノの弾き歌いができるようになったか。 2. グループによる「アンサンブル」や、音楽づくりに積極的に取り組んだか。 3. 音楽の基礎理論（楽典）を理解し、説明できるか。 ○評定の方法 1. 日常の授業への取り組み及び意欲 総合点の 40％ 2. 実技発表 総合点の 40％ 3. 音楽理論の理解 総合点の 20％			
12. 受講生への メッセージ	1 年次で学んだ「音楽」及び「音楽実践演習」をもとにして、さらに応用力を培うために多くの楽曲に取り組 んでください。授業の事前事後の学習は必須です。楽器の技能の習得は継続した練習なくして達成できませ ん。理論の学習も併せて、着実に力を積み重ねていけるように臨んでください。なお、教科書、楽譜類を忘 れますと、授業に参加する意義がなくなってしまうので、忘れずに持参するよう留意してください。			
13. オフィスアワー	授業中に通知する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容		学習課題	
第 1 回	・自己紹介・授業ガイダンス・シラバス説明・音楽経 験・演奏レベル、音楽理論復習を兼ねるアンケート調 査と回答合わせ 課題曲提示 ・発声法とわらべうたを用いたソルミゼーション①		事前学習	・シラバスを読み音楽Ⅱの内容を理解する。 ・テキストを用意する。五線ノートを用意。 ・バイエルなど任意の 1 曲を練習しておく。
			事後学習	・学習内容を確認する・ ・課題の楽曲を復習しておく。
第 2 回	・リズムの学習① ・ハンドサインを使用したソルフエージュ① ・ピアノコードの学習①（コードの基本型） ・弾き歌い曲レッスン①（子どもの歌） ・ピアノ奏法基礎①（バイエル） ・発声法とわらべうたを用いたソルミゼーション② ・音楽理論の模擬授業（学生による）		事前学習	・ピアノコードの復習とノート記載 ・任意の楽曲の予習
			事後学習	・任意の楽曲の復習と次の曲の予習
第 3 回	・リズムの学習② ・ハンドサインを使用したソルフエージュ② ・ピアノコードの学習②（コードの展開型） ・弾き歌い曲レッスン②（子どもの歌） ・ピアノ奏法基礎②（バイエル） ・発声法とわらべうたを用いたソルミゼーション③ ・音楽理論の模擬授業（学生による）		事前学習	・ピアノコードの復習とノート記載 ・任意の楽曲の予習
			事後学習	・任意の楽曲の復習と次の曲の予習
第 4 回	・リズムの学習③ ・ハンドサインを使用したソルフエージュ③ ・ピアノコードの学習③（コードによる伴奏型） ・弾き歌い曲レッスン③（子どもの歌） ・ピアノ奏法基礎③（バイエル） ・発声法とわらべうたを用いたソルミゼーション④ ・音楽理論の模擬授業（学生による）		事前学習	・ピアノコードの復習とノート記載 ・任意の楽曲の予習
			事後学習	・任意の楽曲の復習と次の曲の予習

第5回	・リズムの学習④ ・ハンドサインを使用したソルフェージュ⑤ ・ピアノコードの学習④（コードによる伴奏型） ・弾き歌い曲レッスン④（子どもの歌） ・ピアノ奏法基礎④（バイエル） ・発声法とわらべうたを用いたソルミゼーション⑤ ・音楽理論の模擬授業（学生による）	事前学習	・ピアノコードの復習とノート記載 ・任意の楽曲の予習
		事後学習	・任意の楽曲の復習と次の曲の予習
第6回	・小テスト 既習範囲の音楽理論（楽典）の小テスト	事前学習	・試験範囲の音楽理論の確認
		事後学習	・範囲の音楽理論の復習
第7回	・リズムの学習⑤ ・ハンドサインを使用したソルフェージュ⑥ ・コードチャートエクササイズ① ・ピアノコードの学習⑤（コードによる簡易伴奏） ・弾き歌い曲レッスン⑤（子どもの歌） ・ピアノ奏法基礎⑤（バイエル） ・子どもの歌斉唱① ・三和音連結（C－G－C）① ・わらべうたを用いたソルミゼーション⑥ ・音楽理論の模擬授業（学生による）	事前学習	・ピアノコードの復習とノート記載 ・任意の楽曲の予習 ・子どもの歌予習
		事後学習	・任意の楽曲の復習と次の曲の予習 ・子どもの歌復習
第8回	・リズムの学習⑥ ・ハンドサインを使用したソルフェージュ⑦ ・コードチャートエクササイズ② ・弾き歌い曲レッスン⑥（子どもの歌） ・子どもの歌斉唱② ・三和音連結合唱（C－F－G－C）② ・簡易楽器の種類と奏法① ・わらべうたを用いたソルミゼーション⑦ ・音楽理論の模擬授業（学生による）	事前学習	・任意の楽曲の予習 ・子どもの歌予習
		事後学習	・任意の楽曲の復習と次の曲の予習 ・簡易楽器の種類と奏法の確認
第9回	・リズムの学習⑦ ・ハンドサインを使用したソルフェージュ⑦ ・コードチャートエクササイズ③ ・弾き歌い曲レッスン⑦（子どもの歌） ・子どもの歌斉唱②（手遊び歌） ・三和音連結合唱（C－F－G7－C）③ ・簡易楽器の種類と奏法② ・わらべうたを用いたソルミゼーション⑧ ・音楽理論の模擬授業（学生による）	事前学習	・任意の楽曲の予習 ・手遊び歌の予習
		事後学習	・指定された書籍の通読
第10回	小テスト二回目 提出されたレポートに基づく発表	事前学習	9回目授業後に既に通読した書籍の内容に照らし、課されたレポートを作成し次回授業までに提出する
		事後学習	当日の発表の内容を総括する
第11回	・リズムの学習⑨ ・ハンドサインを使用したソルフェージュ⑦ ・コードチャートエクササイズ④ ・弾き歌い曲レッスン⑧（子どもの歌）・子どもの歌斉唱③（わらべうた） ・三和音連結合唱（C－Em－Am－F－G7－C）④ ・簡易楽器による合奏① ・わらべうたを用いたソルミゼーション⑨ ・音楽理論の模擬授業（学生による）	事前学習	・任意の楽曲の予習 ・リズムの予習
		事後学習	・任意の楽曲の復習と次の曲の予習 ・リズムによる身体表現の復習
第12回	・リズムの学習⑩ ・ハンドサインを使用したソルフェージュ⑧ ・コードチャートエクササイズ⑤ ・弾き歌い曲レッスン⑨（子どもの歌） ・リズムによる身体表現① ・わらべうたを用いたソルミゼーション⑩ ・音楽理論の模擬授業（学生による）	事前学習	・任意の楽曲の予習 ・リズムによる身体表現の予習
		事後学習	・任意の楽曲の復習と次の曲の予習 ・リズムによる身体表現の復習
第13回	・リズムの学習⑪ ・ハンドサインを使用したソルフェージュ⑨ ・コードチャートエクササイズ⑥ ・弾き歌い曲レッスン⑩（子どもの歌） ・リズムによる身体表現②発表 ・わらべうたを用いたソルミゼーション⑪ ・音楽理論の模擬授業（学生による）	事前学習	・任意の楽曲の予習 ・リズムによる身体表現の予習
		事後学習	・任意の楽曲の復習と次の曲の予習 ・リズムによる身体表現の復習
第14回	・リズムの学習⑫ ・ハンドサインを使用したソルフェージュ⑩ ・コードチャートエクササイズ⑦ ・弾き歌い曲レッスン⑪（子どもの歌）	事前学習	・任意の楽曲の予習
		事後学習	・子どもの歌の復習

	・わらべうたを用いたソルミゼーション⑫ ・音楽理論の模擬授業（学生による）		
第 1 5 回	・小テスト 3 回目 テキスト内の任意の楽曲で弾き歌いの発表 ※対象年齢や環境設定を行い、導入の話をして、子どもの歌の弾き歌いをする。 ※授業評価実施	事前学習	・小テストへの準備練習
		事後学習	・テストで発表した楽曲の復習